



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 ホシデン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6804 URL <https://www.hosiden.com/index.html>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古橋 健士
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 鶴 隆文 TEL 072-993-1010
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	120,666	24.7	10,147	54.0	16,070	116.9	10,941	82.5
2022年3月期第2四半期	96,788	△18.1	6,588	27.5	7,410	62.8	5,994	70.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 12,553百万円 (91.5%) 2022年3月期第2四半期 6,554百万円 (63.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	199.05	183.98
2022年3月期第2四半期	106.18	98.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	184,024	129,094	70.2
2022年3月期	171,525	119,533	69.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 129,094百万円 2022年3月期 119,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	55.00	65.00
2023年3月期	—	23.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	58.00	81.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正に関しましては、本日（2022年11月11日）公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	265,000	27.6	15,300	30.5	21,300	34.9	14,800	24.3	269.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

- ・業績予想における為替レートは、1米ドル144円を前提としております。
- ・業績予想の修正に関しましては、本日（2022年11月11日）公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	64,710,084株	2022年3月期	64,710,084株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	9,731,476株	2022年3月期	9,755,041株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	54,966,833株	2022年3月期2Q	56,455,879株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- (1) 予想数値に関する事項は、本日（2022年11月11日）公表の「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。
- (2) 本資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、現在入手可能な情報による当社の判断に基づく将来の予測であり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。さまざまな潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、実際の業績はさまざまな重要な要素により、記載された見通しと大きく異なる可能性もあり、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。なお、業績予想の前提条件その他の関連する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月～2022年9月)の世界経済は、中国のゼロコロナ政策、ロシアのウクライナ侵攻等、不安定な世界情勢を背景にサプライチェーンの混乱や原材料価格の高騰が続き、さらに食糧、エネルギーの高騰に象徴される高インフレが起り、諸外国は金融引き締め政策を続けており、今後景気の回復は減速していくものとされています。一方、わが国では金融緩和政策が継続しており、為替相場は大幅な円安となっております。

当社グループの属する電子部品業界におきましては、自動車関連市場では、半導体不足は期初よりは緩んできているものの、本格的な回復には至っておりません。また、移動体通信関連市場では、インフレの影響もあり、販売台数は前期比減少が見込まれています。

このような状況の下で、当社グループでは、自動車関連向け、健康機器関連向けの売上は減少したものの、アミューズメント関連向けが大幅に増加し、移動体通信関連向けも増加したうえ、円安の影響もあり、全体では売上が増加いたしました。

また、利益面につきましても、為替相場が大きく円安に振れたことにより、営業利益を押し上げ、さらには営業外収益に為替差益を計上したことにより、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益も大幅に増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は120,666百万円(前年同期比24.7%増)、営業利益は10,147百万円(前年同期比54.0%増)、経常利益は為替相場変動に伴う為替差益(5,565百万円)を計上し、16,070百万円(前年同期比116.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10,941百万円(前年同期比82.5%増)となりました。

報告セグメントの売上高及びセグメント利益または損失の状況は、次のとおりであります。

機構部品につきましては、アミューズメント関連向け、移動体通信向けが増加したことにより、売上高は106,185百万円(前年同期比30.4%増)、セグメント利益は9,318百万円(前年同期比94.3%増)となりました。

音響部品につきましては、AV機器関連向けが増加したことにより、売上高は8,178百万円(前年同期比22.9%増)となったものの、セグメント利益は641百万円(前年同期比19.0%減)となりました。

表示部品につきましては、自動車関連向けが減少したことにより、売上高は2,666百万円(前年同期比40.1%減)、セグメント損失は343百万円(前年実績は116百万円のセグメント利益)となりました。

複合部品その他につきましては、健康機器関連向けが減少したことにより、売上高は3,635百万円(前年同期比13.8%減)、セグメント利益は531百万円(前年同期比39.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産・負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、棚卸資産が減少したものの、現金及び預金、売上債権の増加等により前連結会計年度末比12,499百万円増の184,024百万円となりました。また、負債につきましては、その他流動負債が減少したものの、仕入債務、未払法人税等の増加により前連結会計年度末比2,938百万円増の54,930百万円となりました。

なお、純資産は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末比9,560百万円増の129,094百万円となり、自己資本比率は70.2%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比15,922百万円増の78,401百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は19,519百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益15,938百万円、棚卸資産の減少10,715百万円、仕入債務の減少3,869百万円、法人税等の支払3,087百万円によるものであります。

投資活動による資金の減少は、1,553百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,510百万円によるものであります。

財務活動による資金の減少は、3,085百万円となりました。これは主に、配当金の支払3,022百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の修正に関しましては、本日公表いたしました「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、今回の業績予想における為替レートにつきましては、1米ドル144円を前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,794	64,622
受取手形、売掛金及び契約資産	25,864	29,597
有価証券	13,699	15,300
商品及び製品	9,923	9,356
仕掛品	3,117	4,322
原材料及び貯蔵品	38,526	29,721
その他	4,690	5,173
貸倒引当金	△45	△45
流動資産合計	145,572	158,048
固定資産		
有形固定資産	18,559	18,986
無形固定資産	451	462
投資その他の資産		
投資有価証券	4,809	4,361
その他	2,423	2,454
貸倒引当金	△290	△287
投資その他の資産合計	6,942	6,528
固定資産合計	25,952	25,976
資産合計	171,525	184,024

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,614	25,045
短期借入金	2,040	2,226
未払法人税等	3,179	5,307
その他	7,470	6,808
流動負債合計	36,305	39,388
固定負債		
新株予約権付社債	10,051	10,041
退職給付に係る負債	3,577	3,483
その他	2,057	2,017
固定負債合計	15,686	15,542
負債合計	51,991	54,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,660	13,660
資本剰余金	19,596	19,603
利益剰余金	94,320	102,238
自己株式	△9,586	△9,563
株主資本合計	117,990	125,939
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,495	2,179
為替換算調整勘定	△1,334	663
退職給付に係る調整累計額	381	312
その他の包括利益累計額合計	1,542	3,154
純資産合計	119,533	129,094
負債純資産合計	171,525	184,024

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	96,788	120,666
売上原価	85,207	105,490
売上総利益	11,580	15,175
販売費及び一般管理費	4,992	5,028
営業利益	6,588	10,147
営業外収益		
受取利息	39	107
受取配当金	65	73
為替差益	568	5,565
雇用調整助成金	90	88
その他	87	110
営業外収益合計	851	5,945
営業外費用		
支払利息	15	10
シンジケートローン手数料	8	8
その他	5	2
営業外費用合計	29	22
経常利益	7,410	16,070
特別利益		
固定資産売却益	351	94
投資有価証券売却益	225	—
その他	0	—
特別利益合計	577	94
特別損失		
固定資産除売却損	30	5
子会社清算損	—	220
特別損失合計	30	226
税金等調整前四半期純利益	7,958	15,938
法人税、住民税及び事業税	1,894	4,865
法人税等調整額	69	131
法人税等合計	1,964	4,997
四半期純利益	5,994	10,941
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,994	10,941

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	5,994	10,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	△316
為替換算調整勘定	609	1,997
退職給付に係る調整額	△68	△69
その他の包括利益合計	560	1,612
四半期包括利益	6,554	12,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,554	12,553
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,958	15,938
減価償却費	1,381	1,607
売上債権の増減額 (△は増加)	△6,120	△827
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,979	10,715
営業未収入金の増減額 (△は増加)	△159	239
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,917	△3,869
その他	1,324	△1,415
小計	△1,512	22,388
利息及び配当金の受取額	96	143
利息の支払額	△14	△12
雇用調整助成金の受取額	90	88
法人税等の支払額	△2,152	△3,087
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,493	19,519
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	—	△515
有形固定資産の取得による支出	△1,762	△1,510
有形固定資産の売却による収入	337	399
投資有価証券の売却による収入	342	—
その他	18	72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,063	△1,553
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△80	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△846	△3,022
その他	△39	△62
財務活動によるキャッシュ・フロー	△967	△3,085
現金及び現金同等物に係る換算差額	112	1,040
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,411	15,922
現金及び現金同等物の期首残高	69,522	62,479
現金及び現金同等物の四半期末残高	64,110	78,401

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	機構部品	音響部品	表示部品	複合部品 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	81,460	6,653	4,454	4,218	96,788	—	96,788
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	81,460	6,653	4,454	4,218	96,788	—	96,788
セグメント利益	4,796	791	116	883	6,588	—	6,588

(注) セグメント利益の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	機構部品	音響部品	表示部品	複合部品 その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	106,185	8,178	2,666	3,635	120,666	—	120,666
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	106,185	8,178	2,666	3,635	120,666	—	120,666
セグメント利益又は損失 (△)	9,318	641	△343	531	10,147	—	10,147

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。